

# CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 13 No.15 2011年8月15日号

編集:[editor@cnar.jp](mailto:editor@cnar.jp) 広告:[pr@cnar.jp](mailto:pr@cnar.jp) 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2011 CNA Report Japan. All rights reserved.

## 製品・サービス動向-国内

### リコー、ユニファイドコミュニケーション用ポータブル端末とクラウドサービスを開始、来年には海外展開も

株式会社リコー（東京都中央区）は、今年度から参入する新規事業「ユニファイドコミュニケーション システム(UCS)」の第一弾として、遠隔映像コミュニケーション用ポータブル端末の新製品「リコー ユニファイド コミュニケーションシステム P3000」を発売すると発表。また、P3000 による遠隔映像コミュニケーションをサポートするクラウドサービスの提供も同時に開始する。（7月28日）



UCS P3000 は A4 サイズ。本体前面に USB ポート（2 つ）、右端はマイク。後方には、カメラ。その間の本体上部表面（白色）部分に各種ボタンが設置されている。また写真では見えにくいですが右端の方にスピーカもある。後ろの背面には、LAN ポート（x1）、RGB（x1）、DVI-D（x1）などがある。（リコー資料）

「当社のユニファイドコミュニケーション製品のコンセプトは、いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、映像コミュニケーションが行える環境を提供することにある。そのためには、あらゆる端末をつなぐ必要がある。それを実現するための基盤

技術として、Vidyo 社の H.264/SVC に加え、当社が独自に開発した呼制御技術である M2M 通信制御技術を組み合わせている。またクラウドサービスは、IIJ のデータセンターを利用して構築した。」（リコー）

今回発表された P3000 は、そのコンセプトを実現する第一弾となる。コーデックの他、カメラ、マイク、スピーカ、有線/無線 LAN、USB ポートを内蔵した A4 サイズ、重さ 1.6kg の一体型ポータブル端末。本体寸法は、285mm (W) × 189mm (D) × 40mm (H)（突起部除く）。専用のキャリングケース付き。

「従来のテレビ会議専用機だと、会議室に縛られるイメージがあるが、この P3000 は、電源とネットワークがあるところであれば、いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、映像コミュニケーションが簡単な操作で行えるようになっている。当社としては、設置型のテレビ会議とは、一線を画したポータブル型のテレビ会議という位置づけでまず市場に訴求していく。」（リコー）

さて、P3000 は、端末の上部表面にあるボタンを押下することで電源を入れると、ネットワークに無線あるいは有線を通して、P3000 用のクラウドサービスにログインする。起動は、30 秒と早い。

ログインが完了すると、画面には、予めアドレス帳に登録しておいた通話先一覧が表示される。通話は、そのアドレス帳に表示されている任意の相手先（場所名など）を選択することで、コール接続が開始。簡単にポイントツーポイントあるいは、最大 20 ヶ所同時のマルチポイントのテレビ会議が行える。

また、カメラは、130 万画素解像度に広角 94 度を実現しており、他社テレビ会議専用機に搭載されているカメラよりも幅広く映像が捉えられる。P3000 写真（左上）の通り、本体後方に収納し、ボタンを押下することで、立ち上がる。こ

のカメラは、首振りをさせたり、折り曲げたりすることが可能。



UCS P3000 のユーザ画面例：ログインするとこの画面が表示される。アドレス帳一覧（100ヶ所まで登録可）と、自画面が右下に見える。アドレス帳では、それぞれの相手先端末がログインしているかもわかるようになっている。（リコー資料）

「P3000 本体は、据置型のテレビ会議専用機とは違い、会議参加者のテーブルに置くことを想定しているため、広角 94 度にした。この首振りと折り曲げを組み合わせれば、ホワイトボードにカメラを向けてその映像を遠方の相手側に見せたり、あるいは、本体（前頁本体写真参考）向かって右側に沿って書類を置けば、簡易な書画カメラとしても活用できる。」（リコー）

テレビ会議の最中の画面表示は、複数のパターンを用意しているため、好みによって選ぶことが可能。多地点の場合は、最大 9ヶ所の画面を同時に表示することもできる。加えて、話者のみを大きく表示して他の参加者は小さく表示することもできる。

たとえば、20ヶ所多地点接続のテレビ会議の際に、9画面表示の場合は、発話者表示方式によって、発言者が画面に表示される形になる。

これら一連の操作は、P3000 端末上部表面（白色部）にあるボタンを押下することで操作が行える。

「この P3000 の操作イメージは、携帯操作ボタンをイメージして設計した。端末上部表面にある各種ボタンを押下するだけで、電源 ON、相手先選択、コール開始・終了、電源 OFF ができる。」（リコー）

加えて、パソコンのデータを他の会議参加者と共有する場

合は、P3000とPCとUSB接続するだけで、そのPCの画面を簡単に共有することができる。また、共有された資料は画像に変換して表示するため、P3000 端末にもクラウド上にも残らない仕組みになっている。



モバイルプロジェクター IPSiO PJ シリーズ（リコー資料）

その他、リコーから販売されているモバイルプロジェクター「IPSiO PJ シリーズ」とも接続して、P3000 の画面を会議室のスクリーンなどに投影することもできる。

「モバイルプロジェクターIPSiO PJ シリーズと一緒に活用すると P3000 の用途が広がる。形状や色などのデザインも統一感がある。」（リコー）

アドレス帳の登録は、P3000 端末からの登録は不要。顧客への納品時にリコーが行うか、あるいは、ユーザがパソコンを通してクラウドサービス上のサーバに登録することも可能。

加えて、クラウドに登録していないP3000は接続できない仕組みになっているため、仮に登録されている P3000 を紛失したあるいは盗難された場合、クラウドサービス側で接続を拒否する設定をリコー側で行うことも可能という。

セキュリティの観点からも安心して会議を行うことができるとともに、接続先の情報や先述のテレビ会議で共有された資料を守ることができる点も特長だ。

P3000 の製品販売については、保守付きと保守なしの 2種類で提供する。加えて、年間保守や随時保守も提供する。

費用としては、保守なしの P3000 は、198,000 円（税別、以下同）、保守付き（安心 3 年モデル）で 223,000 円。

クラウドサービスの月額利用料は、定額制と従量課金か

らなる。定額の部分は25,000円。一方、従量課金の部分は、基本料金(5時間利用分)が6,000円に15円/分の利用料金となっている。この料金には、センターサーバー接続料、運用サービス利用(センターサーバー、サポートセンター、代替機サービス)を含む。その他、導入時の搬入料や設置指導料、また、年間保守や随時保守等の詳細は同社に確認要。

リコーのユニファイドコミュニケーション事業は、今回の第一弾を始めこれから製品やサービスのラインナップも拡充していくという。また、海外展開も近々開始する。

「端末としては、今回ポータブル型の端末を発表したが、今後は、ノートPCタイプや会議室向けの据置タイプのテレビ会議商品も提供していく。またスマートフォン等にも対応していきたいと考えている。事業展開については、来年早々には、北米をまず手始めに海外でのユニファイドコミュニケーション事業も開始する予定で現在準備を進めている。」(リコー)

今回 UC 製品を開発した主管部門は、同社 総合経営企画室 新規事業開発センター UCS 事業室(神奈川県横浜市)。日本国内販売は、リコージャパン株式会社(東京都中央区)が行う。

## 日立製作所、NetCS-HD に新商品と機能追加



### オールインワン端末 AT-20M1 (日立製作所 資料)

日立製作所株式会社(東京都千代田区)は、日立ビジュアルコミュニケーションシステム「NetCS-HD」に、オールインワン端末とビデオプロキシサーバの新商品と新たな機能追加を発表した。(7月22日)

今回発表されたオールインワン端末「AT-20M1」は、21.5インチ液晶ディスプレイ、カメラを搭載した一体型端末。ビデオ会議の符号化方式は、H.264/SVC。送信映像は SD画質であるが、受信映像は 720p HD 画質に対応。通信速度は、200kbps から 2Mbps。エコーキャンセラ搭載。リモコン操作対応。



### ビデオプロキシサーバ (日立製作所 資料)

一方、ビデオプロキシサーバは、ファイアウォール越え用のサーバとして提供する。Web アクセスで使用する 80 ポートと 443 ポートのみでインターネット接続が可能。取引先、自宅、ホテルから社内のビデオ会議に接続が可能になる。最大同時接続数は 20。対象端末は、NetCS-HD 会議端末のみ。

その他、今回発表された機能追加については、以下の通り。(1)通信の面で、暗号化や HTTPS に対応。(2)端末における受信画面について、16 画面分割に対応。(3)会議サーバでの端末個別情報の集中管理。端末が会議サーバにログインするたびに、端末の個別詳細情報を読み取るため、前の利用者が設定を変更しても、次の利用者は標準設定で利用可能。(4)業務アプリケーションとの連携を実現する API を用意した。

なお、日立ビジュアルコミュニケーションシステム「NetCS-HD」は、日立ハイビジョンテレビ「Wooo」とコラボレーションした「Woolive(ウーライブ)」として販売している。

(次のページへ続く)

## 製品・サービス動向-海外

myVRM、ワンストップショップのスケジュールリングソリューションを提供、バーチャル会議だけでなく、リアル会議の両方に対応



myVRM(マイブイ  
アールエム)は、ニ  
ューヨーク州ヒクス  
ヴィル(Hicksville)に

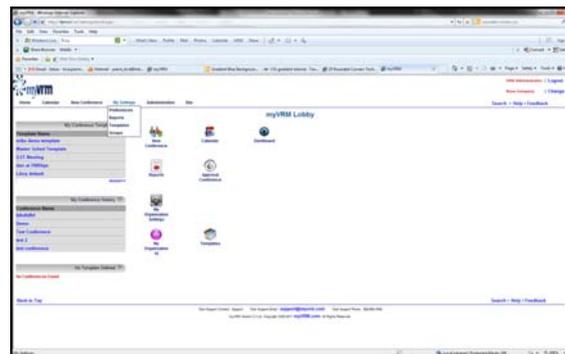
ある米国企業。ミーティングのスケジュールリングをワンストップで行えるソリューションを提供している。ミーティングは、リアルなミーティングから、テレビ会議/Web 会議/音声会議などのバーチャル会議まで対応している。またミーティングの予約だけでなく、そのミーティングに関する管理や記録、レポートングそしてビルディングまでの処理を一元的に行えるのが特長だ。

このスケジュールリングソフトウェアは、ウェブインターフェイスだけでなく、Outlook や Lotus と統合させることで、これらから直接会議の予約などが行えるようになっている。社内導入(オンプレミス)、ホスティング、クラウドサービスで提供されている。

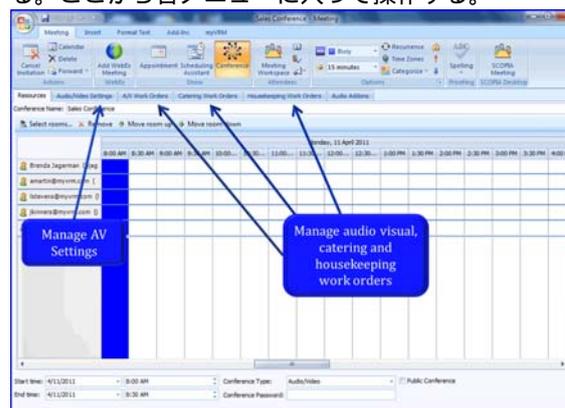
「ビジネスではさまざまなミーティングが日々行われている。そのミーティング開催までには、準備しなければならないことが沢山ある。たとえば、会議室を確保の他、参加者の出席確認、会議室の AV システム、テーブル、座席、そしてケータリングなどの準備や確認など、加えて、社内の承認手続きや費用の処理もある。また一方で、リアルな会議に加え、バーチャルな会議も行われている。これらの準備は、システムで自動化されていないことが多く人が手間をかけておこなっており、煩雑で大変である。そこで、我々は、これらの準備や処理をワンストップで行えるソリューションを開発した。とても強力な機能でありながらも、簡単に直感的な操作が行えるのが特長だ。」(myVRM)

テレビ会議、音声会議、Web 会議によるバーチャルミーティングに対しては、会議予約に必要な機能を包括的に提供している。

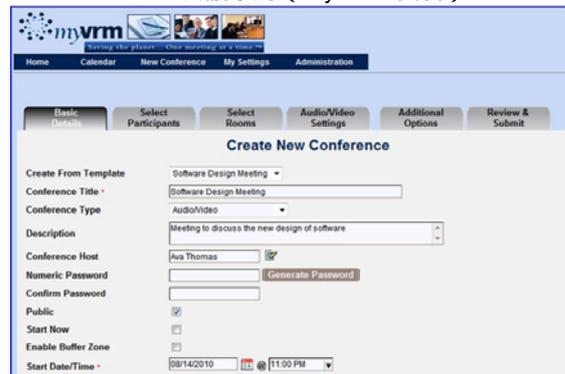
myVRM によると、同社のソリューションは、遠隔会議メーカーに関係なく動作するとともに、既存のテレビ会議メーカーが販売しているソリューションと同様な機能と性能を提供している。音声会議、テレビ会議、ウェブ会議のエンドポイント端末や多地点接続装置(MCU)の即時会議、予約会議、定期会議に対応している。



myVRM Lobby ログインすると最初に出てくる画面。ここには会議開催、カレンダー、レポートなどのアイコンが見える。ここから各メニューに入って操作する。



Outlook からの会議予約 (myVRM 資料)



予約会議設定画面 (myVRM 資料)

実際の使用にあたっては、ウェブや Outlook、Lotus を通してシステムにログオンする。システムにログオンすると会議予約ページが表示され、予約する会議の日時の設定や

会議に参加する端末の登録などを行う。そして、予約の設定が完了すると、参加者へメールの招待が自動で送付される仕組みになっている。

この他、このシステムで行えることは、会議履歴の表示、定期会議向けやメール招待のテンプレートの作成、レポート作成、Excelでのデータ処理のためのCSVファイル出力などがある。

「我々のソフトウェアは、テレビ会議メーカーが販売しているソリューションに劣らないパワフルな機能や性能を有しているだけでなく、操作はいたって簡単でシンプルだ。しかも低コストで導入できるのが優位点だ。しかしより重要な点は、当社のソリューションは、バーチャルなミーティングだけでなく、人が実際に会うリアルなミーティングの予約にも両方対応しているということだ。」(myVRM)

なお、myVRMでは、上述のスケジューリングソフトウェア以外にも、テレビ会議ソフトウェアも提供している。このソフトウェアは、SIPやH.323対応するとともに、ポイントツーポイントから多地点接続も可能だ。

myVRMの親会社は、Interactive Idea, LLC。本社は、同じニューヨーク州ヒクスビルにある。myVRMは、ポリコムARENAパートナーやシスコDeveloper Networkパートナーとなっている。先般6月に北米で開催されたInfocomm 2011に出展。

## Vidyo社、低コストで導入できるマルチスクリーンテレプレゼンスシステムを発表

米Vidyo社は、低コストで導入できるテレプレゼンスシステム「VidyoPanorama(ヴィディオパノラマ)」を発表した。(6月8日)

VidyoPanoramaは、コーデック処理のためのアプリケーション、操作のタブレット、そしてカメラやマイク、スピーカから構成されている。

今回、720p60フレーム/秒と1080p60フレーム/秒に対応した複数画面型テレプレゼンスシステムを発表。今後は、20スクリーン型システムも発表する予定。発売開始は、2011年

第4四半期(10月-12月期)。



VidyoPanorama(Vidyo 資料、youtube)

Vidyo社にとっては、高止まりしていたテレプレゼンスシステムの導入コストを下げる狙いがある。そのため、VidyoPanoramaは、従来のテレプレゼンスシステムの10分の1のコストで導入できる価格帯とした。また、スクリーン当たりの帯域は、500kbps程度におさえながらも、従来システムよりも、人が表示されるスクリーンサイズも5倍広くとっていると同時に、SVCコーデックのためパケットエラーに対しても10倍効率良くなっているという。

VidyoPanoramaは、リセラー用にAPIやSDKを提供する。さまざまなニーズに対応したシステムを構築できるメリットがある。

提供する製品としては、4、6、9スクリーンタイプの3タイプを提供する。それぞれのスクリーンタイプには、720p60と1080p60を選択できる。価格例は、4スクリーン720p60システムが、4万ドル程度。9スクリーン1080p60システムが、6万ドル程度。9スクリーンシステムでは、1スクリーンあたり6,000ドル程度だが、今後20スクリーンシステムが登場すると、1スクリーンあたり4,500ドル程度になるという。

## インターコール社、Web会議サービスに従量課金方式採用

米インターコール社(Intercall)は、同社が提供している「Adobe Connect」Web会議サービスにおいて、1分単位の従量課金方式を採用すると発表した。当面は、北米とEMEA(欧州、中東、アフリカ)にて提供。(6月13日)

Adobe Connect は、OS を選ばない Flash を搭載したブラウザに対応している。今回の発表によって、料金面での選択の幅を広げることで、多様な Web 会議サービスユーザのニーズに柔軟に対応する。このため、ユーザは、分単位で利用できるため Web 会議をより利用しやすくなるという。その他、インターコール社が提供している予約なし電話会議サービスや会議制御(参加者表示、ミュートなど)との連動も可能にする。

### インターコール社、電話会議サービスとマイクロソフト Lync Online を統合

インターコール社は、マイクロソフトの「Lync Online(リンクオンライン)」との統合を発表した。(6月28日)

この統合によって、インターコール社の予約なし電話会議サービス「Reservationless-Plus(リザーベーションレスプラス)」とマイクロソフト Lync Online を連動させたサービスを提供する。

具体的には、マイクロソフト Outlook からの会議予約、ダイヤルイン/アウト、ミュート/アンミュート、ロック/アンロック、会議終了、VoIP/一般回線(PSTN)統合などが可能になる。

今回を契機に、インターコール社は、「Microsoft Office 365」のリセラーとなり、専門のスタッフを配置し顧客サポートを提供する。導入から社内展開をサポートする「Intercall Training and Adoption Services」や、旧来のシステムやアプリケーションから Office 365 への移行を支援する「Professional Migration Services」などを提供する。

### ビジネス動向-海外

#### インターコール社、インド市場の急拡大を受け、シスコ WebEx パートナーに

インターコール社は、インドにおけるシスコ WebEx パートナーとなったことを発表した。(6月27日)

シスコの WebEx は、SaaS ベースの Web 会議サービス。インターコール社によると、9年間(つまり、シスコ買収前から) WebEx サービスを再販売(インターコールのサービスとして)してきた実績がある。一方インドの遠隔会議市場は、急速に拡大しているということから、今回インターコール社としてイン

ド市場においても WebEx サービスを提供することになった。

### ウェストコーポレーション社、Smoothstone IP Communications 社を買収、ユニファイドコミュニケーションサービスを強化

米ウェストコーポレーション社(West Corporation)は、Smoothstone IP Communications 社の買収を完了したと発表。(6月6日)

Smoothstone 社は、企業向けクラウド型のコミュニケーションサービスを展開する米企業。リサーチ会社 Informatics 社によると Smoothstone 社は、北米 VoIP サービス市場においてリーディング企業として評価されている。

買収完了後は、米ウェストコーポレーション社の傘下企業であるインターコール社に吸収される。インターコール社は、両社のサービスを統合することで、中堅企業から大企業までに対するユニファイドコミュニケーションサービスを強化する。

### セミナー・展示会情報

#### <国内>

#### 会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程:8月3日(水)、17日(水)、24日(水)、31日(水)  
 ※全ての日程で13:30~14:30、15:30~16:30の2回開催  
 会場:NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)  
 主催:日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ  
 詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

#### SaaSBoard4.0 を体験しながら参加できる『Web 会議の新たな展開。新バージョン発表！SaaSBoard4.0 説明会』

日時:8月19日(金)13:30~15:30  
 会場:オンラインセミナー  
 主催:ニューロネット株式会社  
 詳細・申込:

[http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html#seminar\\_b](http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html#seminar_b)

(次のページへ続く)

### 「テレビ会議システム導入支援ミニセミナー」

日時: 8月26日(金)15:15~16:00

9月2日(金)15:15~16:00

※いずれの日程も15:00受付開始。

※導入検討ユーザ企業対象。

会場: 下記企業に確認要。

主催: コクヨ S&T 株式会社

問い合わせ・申込: news "at" meetima.net

\*上記メールアドレスの"at"の部分の"@"に差し替えて送信してください。

\*申込時: 会社名、お名前(代表者)、ご参加予定人数(代表者含む)、部署名、役職、電話番号、メールアドレス、希望参加日を明記。

### < 海外 >

#### CENCE 中国企业网络通信大会暨展

日時: 9月21日-22日

会場: 中国 上海市 上海展覽中心

主催: 全球 IP 通信連盟

詳細・申込: <http://cence.dlnet.com/>

\*企業通信、UC、クラウド関連。ビデオ会議もあり。

#### 7th Annual Real-Time Communications Conference and Expo

日時: 10月4日-6日 8:00-17:00

会場: 米国イリノイ州 Illinois Institute of Technology

主催: Illinois Institute of Technology

詳細・申込:

<http://www.cvent.com/events/7th-annual-real-time-communications-conference-and-expo/event-summary-ffc3acffa5af4bddae7a33f788e37f56.aspx>

#### WR CSP Summit - North America 2011

Driving Growth of Collaboration Services in an Emerging Unified Communications Environment

日時: 10月11日

会場: 米国マサチューセッツ州ボストン

主催: Wainhouse Research, LLC

詳細・申込: <http://www.wainhouse.com/event-calendar.php?sec=93>

#### VCI-Group Second Annual Conference

日時: 10月10日-12日

会場: 米国ルイジアナ州ニューオーリンズ Sheraton New Orleans Hotel

主催: VCI-Group

詳細・申込: <http://www.vci-group.org/Events/Conference.aspx>

### Twitter、Facebook

ツイッターとフェイスブックを行っています。よろしければご覧ください。

Twitter 日本語版: <https://twitter.com/cnarjapan>

Facebook: <http://www.facebook.com/keishashimoto>

また 6月7日にフェイスブックに、「テレビ会議・Web 会議・電話会議 & ユニファイドコミュニケーション研究会」

を開設しました。 <http://on.fb.me/jugTNp>

### 編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございました。

暑い日が続きますね。早く秋がこないかなと思う今日この頃です。

実は、今月私の携帯電話契約の更新月でしたので、スマートフォンデビューしました。携帯電話よりも、毎月の料金が増えますので、他の出費を節約するという条件で、家内(経理部長)から許可をいただきました。いろいろと今使い方を勉強しているところです。テレビ会議系のアプリもダウンロードしましたので、これから試してみようと思っています。

以前も報告しましたが、昨年9月から甲状腺機能亢進症で通院していますが、当初毎日飲む錠剤の数が6錠でしたが、最近では、1日1錠になり、症状はお陰様で落ち着いてきました。全く普段通りの生活をしています。

各社からの発表でまだレポートしきれていないものが結構ありますので、次号においてスピードアップします。

暑い日が続きますが、お体にはお気を付けください。

今後ともよろしくお願い致します。

橋本 啓介